

事務事業外部評価シート

事務事業名	家庭用生ごみ処理機普及事業	担当課・係	クリーン推進課 クリーン推進係
-------	---------------	-------	-----------------

1. 事務事業の概要

事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)	事業目的(働きかける対象は何か？ ・対象をどのような状態にしたいか？)	政策体系(まちづくりの目的・方針)	
①家庭用生ごみ処理機器購入費補助金の交付 機器を購入した市民に対し、申請により購入費の一部を補助する。 ②生ごみ消滅器「バクテリアdeキエーロ」製作ワークショップの開催(キエーロの利用方法を説明、参加者自ら製作・持ち帰り、利用してもらう。) ③生ごみ処理機器利用講座の開催、家庭用生ごみ処理機器展示説明の実施(もったいないフェア等にて、生ごみ処理機器の利用方法について市民に情報提供する。)	燃えるごみ 市民	基本目標	地域の特色を活かした快適なまちづくり
		政策	環境にやさしいまちづくり
		施策	ごみの発生抑制と資源の有効活用
		基本事業	3R運動とごみの減量化の推進
意図	生ごみの自家処理量が増加する。	事業期間	
		昭和63年度～	
		根拠法令・条例等	
		佐野市家庭用生ごみ処理機器設置費補助金交付要綱	

2. 事務事業の外部評価

外部評価委員の意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キエーロワークショップ等の啓発活動については、民間やNPO団体等と連携のうえ実施することで、業務拡大や充実を図ることができると考えられる。</li> <li>・機械式生ごみ処理機器の補助からキエーロの補助へ移行することでより良い効果が出ると考えられる。</li> <li>・今後は生ごみ処理機器の補助をすることだけを考えるのではなく、3R啓発事業と統合・連携して、キエーロワークショップの開催や、イベントの開催などに目を向け、PR活動や啓発活動に力を入れていく必要があると考えられる。</li> <li>・ごみ問題は環境を考慮すると重要課題であるため、事業費を削減していくことは困難であると考えますが、予算の執行方法は検討するべきであると思われる。</li> <li>・キエーロワークショップは参加者へ実費相当額の負担金を課しており、受益者負担は妥当であると考えられる。</li> </ul>

3. 外部評価委員会としての評価結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(成果向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年間補助を実施してきた経過を見直し、今後はキエーロワークショップ等に力を入れ、先進的な取り組みをしていく必要がある。</li> <li>・イベントの開催強化、PRの強化を検討し、予算の執行の仕方を検討する必要がある。</li> </ul>

4. 評価結果を踏まえての市の検討結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(成果向上)	(外部評価のとおり) <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの開催、PR等を強化し、キエーロワークショップ等に力を入れる。</li> <li>・販売に向けて発案者との協議を進める。</li> </ul>